

ファブ・鉄筋工事業者

トップに聞く

広島県鉄構工業会（理事長＝山本泰徳・セントス社長）の青年部会は将来を見据えた次世代の人材育成と技術力の向上を目指し、2015年度に組織改革を行った。新たなスタートを切ってから2年。青年部会の変化や活動内容について、船山聖喜会長（三和鉄構建設尾道工場長）に話を聞いた。

「青年部会のリニューアルから2年が経ったが、変化は。」

「従来、青年部会は企業の後継者が参加する組織だったが、次世代を担う若手の経営者や技術者に参加資格を広げ、組合各社から少なくとも一人参加してもらおうようにお願いしている。各社の協

参加というわけにはいかないが、それでも一定の参加がある。着実に活動

「従業員レベルでも横

「技術力向上のため

「17年度を取り組み

「18年4月に全国鉄構

「鉄骨業界はリーマン

は活発になっており、会

事を持つ仲間としての意

支部主催の『第10回鋼構

をすることもあった。初

として、役割は多い。大

会員の仲間意識強める



広島県鉄構工業会
青年部会会長
船山聖喜氏

の活動にも力

「16年度は

「現場の負担は大きい。

「16年度は

「17年度は

「現場の負担は大きい。

「現場の負担は大きい。